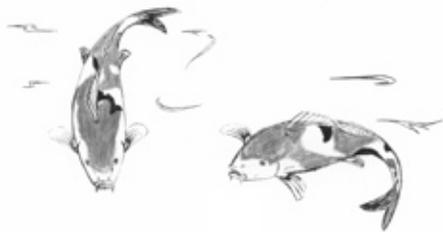

慈 恵



令和3年 No.75

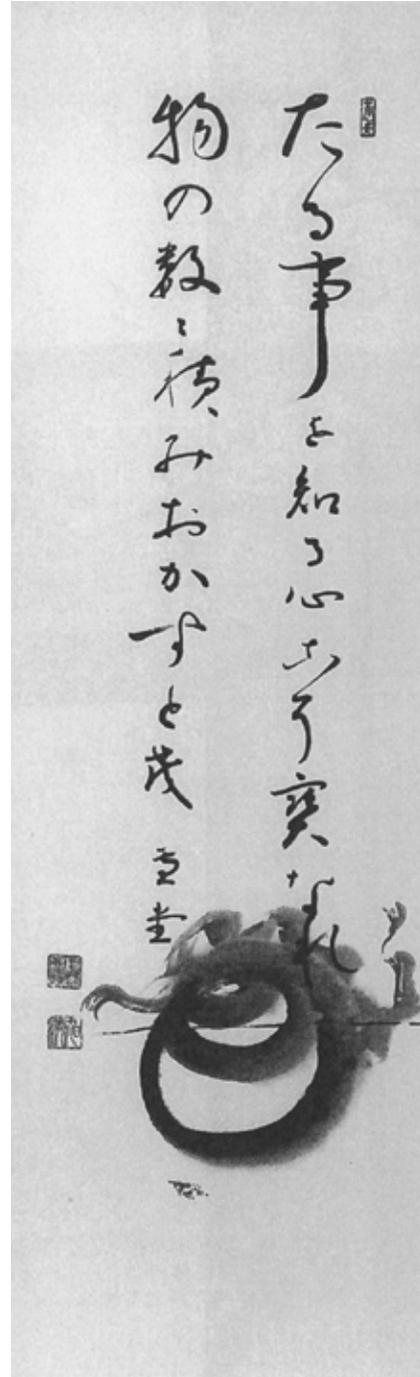


夏

宗教法人 慈 恵 院

付属 多摩犬猫霊園

鑑賞



たる事を知る心こそ宝なれ
物の数々積みおかずとも 雪堂



横山天啓

書道の本源を求めて、八十余年の生涯を書と禅に捧げた横山天啓翁（雪堂、昭和四十一年八十四歳で死去）は、書における墨気と境涯を重んじ、筆禅道を提唱、実践した。世に媚びることなく清貧の中で道を求めた翁の姿は「書仙」の趣があつた。

「禅画報」より

学者、盗人入るべからず

京璨は大寺名刹に住持することを好まなかった。

縁あって武蔵国大宮の東光寺の住職となったが、

もっぱら枯淡な毎日を送っていた。

俗人が訪ねてくることを厭い、門にこう書いて

貼っていた。

住持無学に付き、学者入るべからず

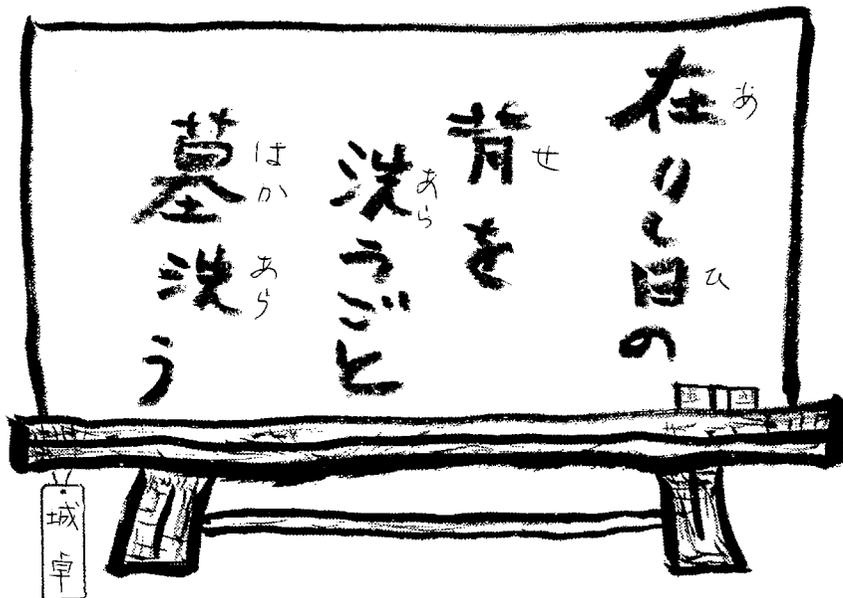
寺貧乏に付き、盗人入るべからず

「禅門逸話集成」より

京 璨きやうさん
(不詳)

曹洞宗。回天、物外らとともに、興聖寺の磨輒に侍し、その法を嗣いだ。

掲示板





わんちゃんの外生活

羽村市 富川 栄美 (50)

家にいる時間が増えると同じ屋根の下で暮らす家族の気配に敏感になります。

ペットを飼っていない方がこの機会にもに過ぎずわんちゃん・猫ちゃんを迎え入れようと考えるのもわかる気がいたします。

しかし昔は防犯の意味もあつたと思いますが、わんちゃんは屋外で飼うのが普通でした。その当時は自宅近所を巡り、外に繋がれたわんちゃん達

に挨拶するのがお決まりの散歩コースになるくらい回りには外で犬を飼っている人が多くいました。かく言う我が家もそれほど大きくもない庭に中型の雑種犬を一頭飼っていました。男の子だったので「しゅん」と名付けました。中型犬と言っても手足が短いためか中型犬にして小さく、小型犬にしては大きく見え、なんとも中途半端でアンバランスな体型の子でした。それが一種の愛嬌になっていたのか、近所の子供達の人気者でした。我が家の前の通りがちょうど小学校の通学路になっており、「しゅん」はガレージのすぐ手前に繋がれていたので、登下校の小学生達にはよく見える場所を定位置にしていました。

子供好きで人懐っこい性格で、子供達が歩いてくる気配がするとガレージの隙間から顔を突き出し、尻尾を振っていました。その様子に惹かれて子供達が「しゅん」の頭を撫でている光景を家の中から何度も目撃しました。「しゅん」は晩年、上手く立てなくなるまでの10年以上屋外で過ごしました。今にして思えば一年中外で過ごすのはなかなか厳しい環境だったので、いかと暗い気持ちになることもあります。番犬には不向きな誰にでも愛想よく振る舞う子だったので寂しい思いをしていたのではないかとも思います。近所さんのわんちゃん達と交流を持ってないのを味気なく思う反面、暑さ寒さに左右されにくい

環境はペット達にとっては理想的な場所なのかもしれませぬ。

しかし、「しゅん」のことで思い出すのは子供達の姿を見て全力で尻尾を振る姿と犬小屋の隣に植えていた柿の木から落ちてきた実を食べている姿です。秋になると獲りきれない程たくさん実をつける木で、熟すと自然に実が落ち、待ち構えていた「しゅん」の近くまで降ってきます。柿を犬が食べても問題ないのか今でもわかりませぬ。色づき、食べごろになると鳥が飛んできて柿の実をついばみます。その光景を地上からじっと眺めている「しゅん」の姿は柿が落ちてくるのが待ち遠しいといった面持ちに感じました。

新本堂建設進捗状況



只今
基礎工事中です
おかげさまで
順調に進んで
おります



8 月	7 月	6 月	当山行事
(足立別院 8/14) (旧盆) 盂蘭盆会 8/15	盂蘭盆会 (新盆) 7/11		二十四節気
8/23 処暑	7/7 小暑 7/22 大暑 足袋白く埃をさけつ 大暑かな(室生犀星)	6/21 夏至 夏至も亦梅雨の隠微に 倣ふなり(相生垣瓜人)	伊賀山や芒種の雲の 不齊(圭岳)
8/15 終戦記念日 8/9 長崎原爆の日 8/8 山の日 8/6 広島平和記念日	7/23 スポーツの日 7/22 海の日 7/19 土用入り 7/15 中元	6/20 父の日 6/11 入梅 7/2 半夏生 7/7 七夕の節句 (七夕)	祝日等

夏ごよみ

「気分転換」

立川みなみ動物病院(立川市)

院長 中川 浩

コロナウイルス感染拡大の中、日々の生活に多くの影響があり皆様も色々と苦慮されていることと思います。

私の場合、子供のころから犬猫だけでなく、色々な生き物が大好きでしたので、春には鳥やオタマジャクシなどを見つけたら、夏の夜には蝉の羽化などの観察をしながら歩いている感じです。春に向けて探索も兼ねて散歩をするのが今からとても楽しみです。

そこで感じたことは、コースが毎回同じでも時間帯が違くと新しい発見があるということです。

です。

外出自粛が続く中ですが、皆様の健康を保つためにも運動と気分転換を適度に行う中で季節の変化を感じ、小さくても温かい幸せに出会えますようお願いしております。



作文募集

- ペットとの思い出、出来事など作文にしてお寄せ下さい。(800字以内)
- 尚、作文には題名を必ずご記入下さい。
- 応募作品は返却いたしません。
- 住所・氏名・年齢・電話を明記し、慈恵院編集部宛お送り下さい。
- 掲載は随時とさせていただきます。